

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## JAむなかたが挑戦するSDGs

JAむなかたは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



**1 貧困をなくそう**

**直売所の活性化**

直売所では卸会農産物だけではなく、少量多品目の生産に取り込む農家の所得向上も応援しています。

**2 飢餓をゼロに**

**JAグループ**

安定した安全・安心な食の供給  
食料自給率の向上  
地産地消を推進しています。

**3 すべての人に健康と福祉を**

**健康づくり**

組合員・希望者を対象とした健康診断を行っているほか、スポーツ大会などを実施しています。

**4 質の高い教育をみんなに**

**食育活動**

青壮年部やアクレシの協力も得ながら、米や芋、露地野菜の栽培体験など、様々な食育活動を展開しています。

**5 ジェンダー平等を実現しよう**

**女性の活躍**

女性の積極的なJA運営・活動への参画や働きやすい職場づくりなどに力を入れています。

**6 安全な水とトイレを世界中に**

**田んぼの維持・活性化**

田んぼは水を貯め、浄化する役割を持っています。そんな田んぼをJAは守ります。

**7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに**

**米粉パンの販売**

自給率100%の米粉を使うことで米の消費量が増えるほか、原材料の輸送エネルギー削減につながっています。

**8 働きがいも経済成長も**

**障がい者の就労支援**

障がい者が農業関連の仕事に取り組み「幸福連携」を行い、就労を支援しています。

**9 産業と技術革新の基盤をつくろう**

**ICTの活用**

いちご部会ではICTを導入し、新規就業者の育成や販売高の向上などに力を入れています。

**10 人や国の不平等をなくそう**

**自己改革**

農業者の所得増大などを基本目標として掲げる自己改革に取り組んでいます。

**11 住み続けられるまちづくりを**

**1支店1協同活動**

支店ごとのイベントや食育活動を通じてコミュニティの中心となり、地域住民同士の交流を図っています。

**12 つくる責任 つかう責任**

**パッケージセンター**

農産物をお預かりし、パッケージング作業を請け負います。負担軽減につなげ、収量の増加を目指します。

**13 気候変動に具体的な対策を**

**津屋崎予冷庫**

異常気象などでキャベツの価格が低迷したことを受け、予冷庫を新設して計画的な出荷をしています。

**14 海の豊かさを守ろう**

**廃プラ回収**

焼却で環境破壊が懸念される廃ビニールやごみ処理施設では処分できない不要農薬などを回収しています。

**15 陸の豊かさも守ろう**

**耕作放棄地の解消**

大型草刈機（スライドモア）を活用した草刈と耕起作業を行い、耕作放棄地の拡大防止に努めています。

**16 平和と公正をすべての人に**

**地域見守り活動**

青色防犯パトロール隊による子ども見守り隊が安全・安心な地域づくりに向けて見守り活動を行っています。

**17 パートナーシップで目標を達成しよう**

**ふるさと納税**

ふるさと納税返礼品として行政と連携し農産物などを出品しています。みんなで農産物を食べましょう！

## これまでもこれからもSDGs

SDGsの中に「2. 飢餓をゼロに」 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進するという目標があります。

JAにとって使命ともいえる「持続可能な農業の推進」。

JAむなかたでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とした自己改革に取り組んでいますが、これらの取り組みは持続可能な農業の推進、そしてSDGsへとつながります。